教科横断型授業「日本史B」×「コミュニケーション英語Ⅱ」
学習指導案

ＳＤＧｓでの課題	ＳＤＧｓの番号（11番）「住み続けられるまちづくりを」
実社会での課題	現代は大量生産・大量消費の時代であり、ものを大切にするという精神が失われつつある。本来日本が誇る「もったいない精神」をどのように社会に浸透させていくかが課題である。
生徒に身に付けさせたい資質・能力	江戸時代の日本がものを大切にしていたというさまざまな事例を学び、現代社会を持続可能なものにするためにはどうすればよいか考えさせる。
主題（教材）	Edo ： A Sustainable Society

指導過程		学習活動	時間	指導上の留意事項	資料等
	導入	江戸時代について知っていることを確認する。	5	○　江戸時代の日常生活を描いている絵を見ながら考えさせる。	○教科書
	展開	1　TF Questions によって教科書の理解度を確認する。 2　教科書に書かれている江戸時代の人々の実践例について詳しく学ぶ。 3　江戸時代の人々が実践していたことのうち、どれが一番印象に残ったかグループで話し合う。 4　持続可能な社会を実現するために今後自分たちは何をすべきかについて発表する。	5 10 15 10	○　教科書の英文を理解しながら読ませる。 ○　日本史の資料を用いて教科書の内容をさらに深く理解させる。 ○　現代社会と結び付けて考えさせる。 ○　江戸時代から学べること、現代社会だからこそできることなど多角的に発表させる。	○ワークシート ○教科書
	整理	○　学習内容を確認する。 ○　本時の感想をまとめる。	5	○ 学習内容を理解できたか確認し、本時の感想をまとめさせる。	○ワークシート
備考					